

G20 EMPOWER

～女性のリーダーシップとエンパワーメントを加速するアライアンス～

2021年9月

G20 EMPOWERとは

G20 EMPOWERとは

Private sector alliance for the Empowerment and Progression of Women's Economic Representation

経済・ビジネスにおける主要な役割を担う女性の増加とエンパワーメント達成のための民間セクターのアライアンス

日本が議長国を務めた2019年6月のG20大阪サミット首脳宣言において発足への歓迎と支持が明記され、2020年より本格的に立ち上げられました

- ◆ 民間ビジネスセクターの意思決定層、経営層における女性の活躍を推進
- ◆ G20諸国を中心として、民間企業・団体が政府関係機関と連携
- ◆ G20首脳に対し、活動の進捗報告、提言
- ◆ 日本はファウンディングメンバーとして、議長国とともに中心的に活動

G20 EMPOWER Vision

“Be the most inclusive and action-driven alliance among businesses and governments to accelerate women’s leadership and empowerment across the G20 countries”

**“G20全体で女性のリーダーシップとエンパワメントの実現を加速する
最も包摂的で行動重視のビジネスおよび政府間アライアンスである”**

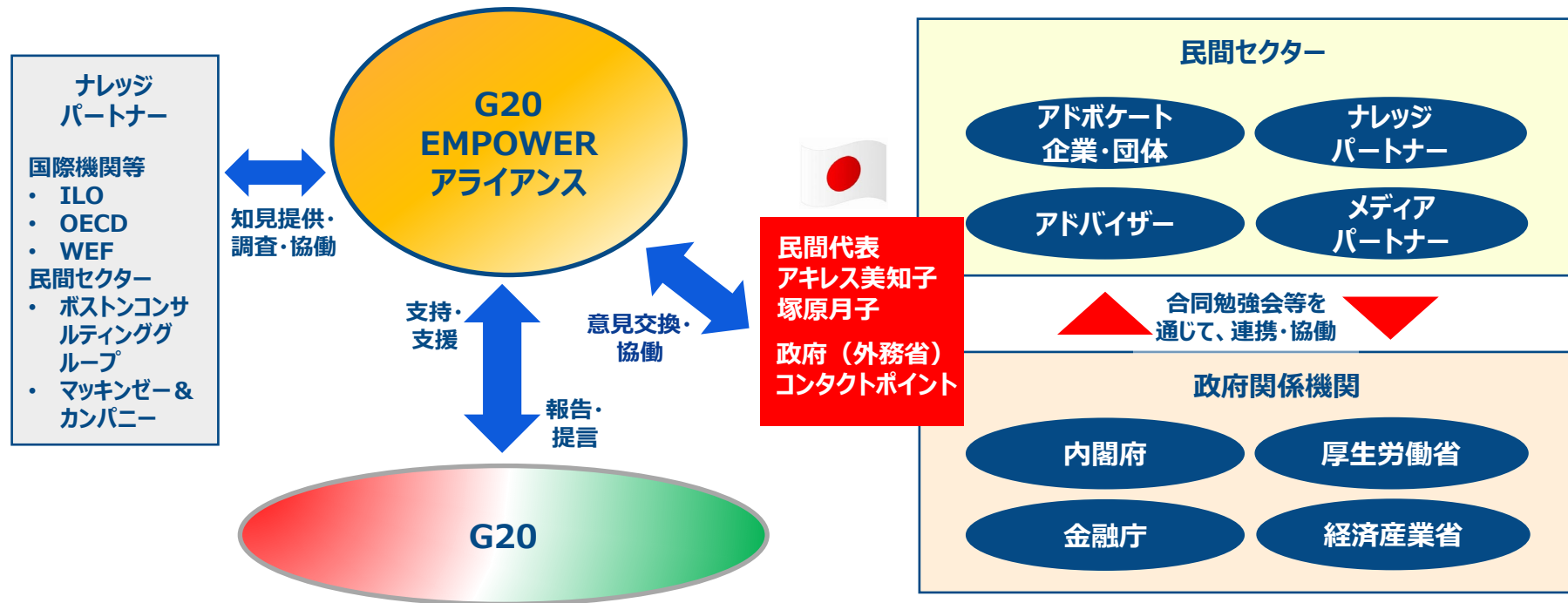
G20 EMPOWERの位置づけ



G20 EMPOWERの活動体制：官民ステークホルダーが連携して推進

グローバル体制

国内体制



アドボケートの役割

- G20 EMPOWERの意義、活動、成果などを社内外に伝え、女性のリーダーシップとエンパワーメントを加速する具体的なアクションをおこす
- G20 EMPOWERアドボケートのメンバー間で、現状とその背景やデータの解釈、施策などで意見交換やアドバイスを共有する
- 国内外のネットワーキング、イベント、サーベイ、プロジェクト、勉強会など、情報交換や学び合いの機会に積極的に参加する
- G20 EMPOWERベストプラクティスプレイブックを通して、自社の好事例を共有し、他企業・団体からのベストプラクティスを学ぶ

グローバルで400を超える企業・団体がG20 EMPOWERアドボケート・ネットワークを形成*

*2021年9月現在

日本におけるG20 EMPOWERアドボケート（9月2日現在 31社・団体）

- 味の素株式会社
- EY Japan
- ヴィエムウェア株式会社
- AIGジャパン・ホールディングス株式会社
- 株式会社エヌ・ティ・ティ・データ
- MS&ADインシュアランスグループホールディングス株式会社
- SAPジャパン株式会社
- キリンホールディングス株式会社
- 公益社団法人 経済同友会
- 株式会社JERA
- 清水建設株式会社
- ジョンソンエンドジョンソングループ
- Slack Japan株式会社
- ソニー株式会社
- SOMPOホールディングス株式会社
- 大和証券グループ本社
- デロイト トーマツ グループ
- 東京海上ホールディングス株式会社
- 公益財団法人21世紀職業財団
- パナソニック株式会社 コネクテッドソリューションズ社
- 日経ウーマンエンパワーメントプロジェクト
- 一般社団法人 日本経済団体連合会
- 一般社団法人 日本女性エグゼクティブ協会
- 日本たばこ産業株式会社
- 富士通株式会社
- 三井住友トラスト・ホールディングス株式会社
- 株式会社三井住友フィナンシャルグループ
- 三菱ケミカル株式会社
- 株式会社LIXILグループ
- 株式会社リクルートホールディングス
- 株式会社りそなホールディングス

日本におけるG20 EMPOWERのアドバイザー

ナレッジパートナー



岩田喜美枝様

津田塾大学理事



中村紀子様

JAFE代表
(株) ポピンズHD
代表取締役会長



坂東眞理子様

昭和女子大学
理事長・総長



橘・フクシマ・咲江様

G&S Global
Advisors Inc.
代表取締役



キャシー松井様

MPower Partners
ゼネラルパートナー



矢島洋子様

三菱UFリサーチ
&コンサルティング
執行役員/副本部長

2021年の活動について

2021年 G20 EMPOWERグローバル体制

TROIKA

イタリア
(議長)

インドネシア
(副議長)

サウジアラビア
(副議長)

カナダ
(副議長)

日本
(副議長)

OTHER G20

アルゼンチン、オーストラリア、ブラジル、中国、フランス、ドイツ、インド、メキシコ、ロシア、南アフリカ、韓国、トルコ、英国、米国、EU

2021 GUESTS

ヨルダン、オランダ、シンガポール、スペイン、スイス、ルワンダ、アラブ首長国連邦

G20 EMPOWER 2021年 日本の果たした役割

1

副議長国として、G20 EMPOWER活動全般・根幹にかかわる意思決定に強く関与

- ・ 引き続き、積極的な関与、率直な意見交換と提案、粘り強いコミュニケーションを継続
- ・ アドボケートの参画推進戦略を2022年議長国のインドネシアと共有、G20 EMPOWER Advocate Toolkit作成に貢献

2

G20 EMPOWERのグローバル・ビジョン策定において中心的に貢献

- ・ 各国のビジョン案をとりまとめ、議長・副議長国との議論を経て、共通ビジョンを策定し最終化

3

G20 EMPOWER ベストプラクティス・プレイブック作成プロジェクトをリード

- ・ 2021年のプレイブック作成に向けてベストプラクティスの量・質両面をさらに充実
- ・ 日本のアドボケートをはじめ、G20 EMPOWERアライアンス関係者にとって有意な示唆を抽出
- ・ プレイブックの更新・拡充活動を通じて、G20 EMPOWERメンバー国のアドボケート同士が実践のために学び合えるプラットフォームづくりに貢献

G20 EMPOWERの2021年活動成果及びキーメッセージ

変革を実現するための具体的な解決策の提示

(民間部門の行動に向けた強い意志及び政府に対する提言)

1. 改善に向けた測定
2. 効率的で持続可能な女性人材育成とパイプラインの強化
3. 女性がリードする未来へ

G20 EMPOWERベストプラクティス・プレイブックの作成・公表

- これまでに実践された施策、行動、戦略のベストプラクティスを共有し、学び合い、アライアンス外の組織も含めて事例からの示唆を活用し、変革を推し進めることが目的
- アドボケートから自主的に共有された好事例をとりまとめ、示唆抽出
- 全体で160を超えるベストプラクティスを収集、日本からは14の事例を提供

8月26日

閣僚会合にて

G20 EMPOWER
議長より手交

G20 EMPOWER ベストプラクティス・プレイブック 2021

<23か国139企業・団体から寄せられた160を超えるベストプラクティスを掲載>

G20 EMPOWER Best Practices Playbook // 2021

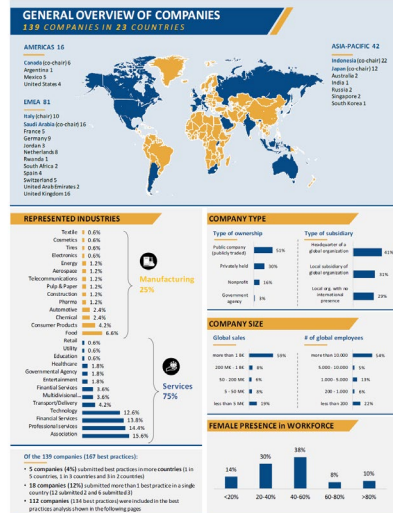
EMPOWERING WOMEN TO LEAD THE "NEW NORMAL" WORLD



G20 EMPOWER Empowerment and Progression of Women's Economic Representation

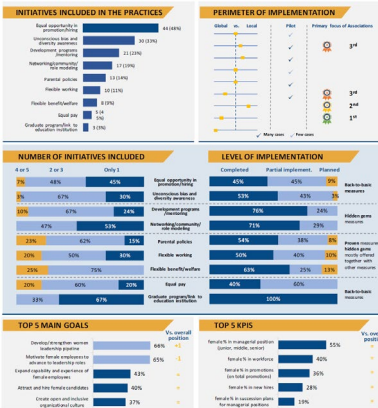
Supported by **BCG** as the G20 EMPOWER Knowledge Partner

Key Findings and Insights



FOCUS AREA WOMEN TALENT PIPELINE

91 BEST PRACTICES (88%)



KEIDANREN – Challenge Initiative for 30% of Executives to be Women by 2030 #HereWeGo 203030

General Information:
Country: Japan
Type of Company: Nonprofit
Industry: Services - Association
Sales: N/A
Employees: Locally 200 - 500
Type of organization: Headquarter of a global organization

Impacted KPIs:

% in workforce	% in promotions
Pay gap vs Male	% in BOD
% in managerial roles	OTHER % KPI

Other impacted KPIs:



Initiative description:

Main Goal:
Develop/strengthen women leadership pipeline

Perimeter of Implementation:
Entire organization at local level

Workforce Focus: Broader diverse workforce

Extended/Detailed Description

The keys to sustainable capitalism are the inclusion and co-creation of diversity. Corporations are being called on to establish environments that will draw out to the fullest the ability of diverse people to co-create value. If the differences in the environment between men and women in corporations, the home, and society as a whole no longer existed, given the male-to-female population ratio, it would be a natural conclusion for women to account for around 50% of leadership positions. It is important we continue to pursue the ideal of realizing such a society, and new, high targets should be set that would provide a driving force toward their achievement.

G20 EMPOWER日本の共同代表

アキレス美知子

SAPジャパン株式会社人事戦略特別顧問
横浜市参与男女共同参画/人事制度担当
三井住友信託銀行株式会社取締役



上智大学比較文化学部経営学科卒業。米国Fielding大学院組織マネジメント修士課程修了。

富士ゼロックス総合教育研究所で異文化コミュニケーションのコンサルタントを始め、シティバンク銀行、モルガンスタンレー証券、メリルリンチ証券、住友スリーエムなどで人事・人材開発の要職を歴任。あおぞら銀行常務執行役員、資生堂執行役員を経て、2015年からSAPジャパンで常務執行役員人事本部長を務め、2019年より特別顧問。また、2014年より横浜市参与、2021年より三井住友信託銀行の社外取締役役に就任、現在に至る。

2010年から2012年までAPEC「女性と経済サミット」に日本代表メンバーとして参加。2011年から2017年までNPO法人GEWEL(Global Enhancement of Women Executive Leadership)の理事、副代表を務め、2017年世界女性サミット東京大会では実行委員およびスピーカーとして参画。また、2017年度より内閣府「女性役員育成研修」の企画委員および講師を務める。

ビジネス、NPO、行政での幅広い活動が認められ、米国Diversity Global誌による「2017年グローバルダイバーシティにおいて最も影響力のある10人の女性」に選出された。2018年よりG20エンゲージメントグループであるWomen20の日本代表メンバー、2020年よりEMPOWER (Empowerment and Progression of Women's Economic Representation)の日本共同代表を務める。

プライベートでは、米国人の夫をもち、二人の娘の母親でもある。

塚原月子

株式会社カレイディスト代表取締役
カタリスト・アドバイザー



東京大学経済学部卒業、ダートマス大学タック経営大学院修士（MBA）取得。

塚原月子は、ダイバーシティ&インクルージョン（D&I）の領域でアドバイザー、コンサルティングサービス、研修などを行う株式会社カレイディストを2018年2月に設立。現在は代表取締役として、多国籍・日本企業、政府、教育・研究機関等に対してサービスを提供している。

また、インクルージョンを通して女性のキャリア推進を支援する世界的な非営利組織カタリストのアドバイザーとして、その日本での活動をサポート。日本における様々な調査研究、講演、イベント企画等に従事。2018年7月より、G20/Women 20運営委員会の事務局長を務めており、また、2019年G20大阪サミットで立ち上げられたEMPOWERの日本代表の一人でもある。

D&I領域での活動を本格的に開始する以前は、ボストン・コンサルティング・グループにて10年以上勤務し、ヘルスケア及び金融分野を中心に、多くの多国籍企業、日本企業に対するコンサルティングを行ってきた。代表的な取組分野は、組織及び文化のチェンジ・マネジメント。

国土交通省勤務時には、中部国際空港や関西国際空港の建設、長野での冬季オリンピック招致等の大規模国家プロジェクトに携わった。

自身も、3児をもつ母親として、育児と仕事の両立しながら柔軟な働き方を模索中。